

一三〇〇年のその先へ

須恵器

6世紀前半に作られた熊野神社古墳から出土した多くの須恵器は、美濃陶磁歴史館に収蔵されています（写真右）。須恵器とは、5世紀前半に朝鮮半島から渡来した職人によってもたらされた焼き物です。丘陵の斜面に築かれた窯で1100度以上の高温で焼かれるため、土器より硬く焼き締まっているのが特徴です。器種は、蓋、坏、高坏、皿、甕、壺などがあり、日常的な飲食器や古墳の副葬品として用いられました。市内には、7世紀から8世紀に須恵器を焼くために使われていたと考えられる須恵器窯が二つあります。その一つ、隠居山須恵器窯は市内で唯一現存している貴重な窯跡として、泉西小学校の校庭内に保存されています。もう一つの清安寺須恵器窯は、残念ながら現存していません。東濃地域で確認されている須恵器窯は少数であることから、地元向けに少量の須恵器を生産していたと考えられています。東濃産の焼き物が全国各地へ流通するようになるのは、9世紀の灰釉陶器の生産以降のことになります。

今回は、灰釉陶器について紹介します。

隠居山須恵器窯出土品（7～8世紀）



熊野神社古墳出土品
(猿投で焼かれた須恵器だと思われるもの)



美濃陶磁歴史館
(☎55) 1245

プラザイベントガイド

文化プラザ ☎55) 5711

平成25年4月1日に 公益財団法人土岐市文化振興事業団を設立しました

(公財)土岐市文化振興事業団では、市内でさまざまな文化事業を開催するほか、文化財の調査研究・活用を行うことで文化・芸術活動を盛り上げ、土岐市を心豊かで活力あるまちにしていくための活動を行います。

主な事業

- (1) 美術展、音楽祭、文芸祭など市民の皆さんが参加できる文化事業を行います。
- (2) 文化プラザを中心とした文化芸術活動の場所を市民の皆さんに提供します。
- (3) 市内の遺跡の発掘・調査を行い、文化財の研究などを行います。
- (4) 美濃陶磁歴史館で歴史民俗資料などの展示を行います。
- (5) 織部の里公園で陶芸体験や茶室の公開などを行います。
- (6) 文化プラザでのコンサートや演劇などの企画・運営を行います。

平成25年 文化プラザ開催事業（予定）

- ▷ 8月4日(日) 劇団うりんこ「ふたりでまいご」
- ▷ 9月21日(土) 由紀さおり・安田祥子 童謡コンサート

詳細が決まり次第、広報などでお知らせします。



スプリング夢コンサート



暮雪庵茶会(野だて)